

日本システム企画



代表取締役社長
熊野 活行氏

◀ NMRパイプテクター



しまったりといふ事もありま
す。配管には必
ず継手の断面が
あるためそこか
ら赤錆が発生し
てしまうこと
と、赤錆により
し、赤錆により
う事もありま
す。配管には必
ず継手の断面が
あるためそこか
ら赤錆が発生し
てしまうこと
と、赤錆により
し、赤錆により
う事もありま
す。配管には必
ず継手の断面が
あるためそこか
ら赤錆が発生し
てしまうこと
と、赤錆により

「NMRパイプテクター」を導入する
ことで給水、空調、及び
冷却配管の劣化を防ぐこ
とができます。一般的に
配管の寿命は25年程度と
コンクリートよりも短い
のですが「NMRパイプ
テクター」により劣化を
防いだ配管の寿命は40年
以上さらに延命します。

日本は地震の多い国で

す。国内の建築物の耐震
性は素晴らしく、大きな
地震に耐えるビルの躯体
は既に実現できていると
思います。しかし見落と
しがちなもの
が給水、空調
などの配管の

配管の寿命を倍に 40年以上交換改修が不要に

耐震性です。配管の通っ
ていないビルはありませ
んが、地震によって配管
の継ぎ目に隙間ができて
しまうと漏水が発生し、
躯体やビル内のコンピュ

ないうちに老朽化が進
み、赤錆の発生と進行に
よって赤水や漏水が起きま
す。気付いた時にはバル
ブなどがボロボロで大規
模な改修が必要になって

配管に取り付けること
で流れる水から電子を出
し、配管内で発生した赤
錆を還元して黒錆へ変え

を交換しようとするば
体をほほ破壊するよう
なものとなってしまい、
つそ建替えてしまった
が早い場合も考えられ
ることで溶け出す赤錆
とほとんどです。「NMR

空調管ともなれば躯体
のあらゆる場所に張り
巡らされており、それ
を交換しようとするば
体をほほ破壊するよう
なものとなってしまい、
つそ建替えてしまった
が早い場合も考えられ
ることで溶け出す赤錆
とほとんどです。「NMR

診断・改修を駆使してビルの収益性を長期保持